



EXTRAcolor

製品名	グラスステージ EXTRAcolor (エクストラカラー)
種別	2液弱溶剤多重ラジカル制御形無機塗料
荷姿	16kg/セット、4kg/セット
用途	内外部壁面、一般屋根、鉄部、木部など
適用基材	モルタル、コンクリート、ブロック、木部、鉄部、硬質塩ビ、ケイカル板、サイディングボード、吹付けタイル、スタッコ、リシン、コロンアル、カラーベスト、スレート、カラー鋼板、アルミニウム板、メッキ鋼板など

工程	材料	割合	所要量 / m ² / 回 (塗布面積 / セット / 回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)	
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。							
下塗り	下地に応じた下塗り材をご使用ください。							
中塗り	セラベース [油性タイプ]	主剤	13.5kg	0.12~0.16kg (93~125m ²)	刷毛 中毛ローラー エアレスプレー	1	3時間以上	5時間以内
		硬化剤	1.5kg					
PXシンナー		0~3%						
上塗り	エクストラ カラー	主剤	14.0kg	0.12~0.14kg (114~133m ²)	刷毛 中毛ローラー エアレスプレー	1	(4時間以上) 7日以内	4時間以内
		硬化剤	2.0kg					
PXシンナー		0~5%						

注意事項

- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- セラベース[油性タイプ]及びエクストラカラーは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の割合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- 2液反応硬化形は塗料毎の可使時間以内に塗装してください。
- 小分けをする場合は十分攪拌し、均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因になります。
- 弱溶剤形製品は取り扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 希釈は仕様の割合を守り十分に攪拌してください。割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行ってください。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水溝・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。



FLEXcolor

製品名	グラスステージ FLEXcolor(フレックスカラー)
種別	2液弱溶剤多重ラジカル制御形弾性無機塗料
荷姿	18kg/セット、4.5kg/セット
用途	内外部壁面、鉄部、木部など
適用基材	モルタル、コンクリート、ブロック、木部、鉄部、硬質塩ビ、ケイカル板、サイディングボード、吹付けタイル、スタッコ、リシンなど

工程	材料	調合	所要量/㎡/回 (塗布面積/セット/回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)	
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。							
下塗り	下地に応じた下塗り材をご使用ください。							
中塗り	セラベース [油性タイプ]	主剤	13.5kg	0.12~0.16kg (93~125㎡)	刷毛 中毛ローラー エアレスプレー	1	3時間以上	5時間以内
		硬化剤	1.5kg					
	PXシンナー		0~3%					
上塗り	フレックス カラー	主剤	14.0kg	0.12~0.14kg (128~150㎡)	刷毛 中毛ローラー エアレスプレー	1	(4時間以上) 7日以内	4時間以内
		硬化剤	4.0kg					
	PXシンナー		0~5%					

注意事項

- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- セラベース[油性タイプ]及びフレックスカラーは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- 2液反応硬化形は塗料毎の可使時間以内に塗装してください。
- 小分けをする場合は十分攪拌し、均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因になります。
- 弱溶剤形製品は取り扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が違って見える事があります。
- エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行ってください。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水溝・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。



ECOroof

製品名	グラスステージ ECOroof(エコルーフ)
種別	2液弱溶剤多重ラジカル制御形高日射反射率屋根用無機塗料
荷姿	16kg/セット
用途	一般屋根
適用基材	コロニアル、カラーベスト、波形スレート、セメント瓦、乾式洋瓦、釉薬瓦、カラー銅板、フッ素銅板、ガルバニウム銅板、塩ビ銅板、亜鉛メッキ銅板、アルミニウム、ステンレスなど

工程	材料	割合	所要量 / m ² / 回 (塗布面積/セット/回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)	
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。							
下塗り	無機有機ハイブリッドEPO(ホワイト)							
上塗り	エコルーフ	主剤	14.0kg	0.11~0.14kg (114~145m ²)	刷毛 中毛ローラー エアレスプレー	2	4時間以上 7日以内	4時間以内
		硬化剤	2.0kg					
	PXシンナー		0~5%					

注意事項

- アスファルトシングルへの塗装は避けてください。
- 下塗りについては無機有機ハイブリッドEPOの標準施工仕様書をご確認ください。
- 乾式洋瓦はデッキブラシ等を併用しながら高圧洗浄し、着色スラリー層が除去できていることを確認したうえで無機有機ハイブリッドEPOを2回塗りしてください。
- エコルーフは2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の割合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- 所要量は厳守してください。所要量が少ない場合、点錆の発生、耐久力の低下、色相の違い、隠蔽力の低下及び遮熱効果が十分に発揮できない恐れがあります。
- エコルーフは必ず2回塗りで仕上げてください。
- 2液反応硬化形は塗料ごとの可使時間以内に塗装してください。小分けする場合は十分に攪拌して均一な状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因になります。
- コロニアル、カラーベスト等の重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は皮すき・カッター等で除去してください。漏水の原因になります。
- エコルーフは弱溶剤形のため取り扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を遵守してください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- エアレスプレーでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因となる事があります。飛散防止対策は確実に行ってください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた衣類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物として処分してください。(排水溝・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。



CRYSTALcoat

製品名	グラスステージ CRYSTALcoat (クリスタルコート)
種別	2液弱溶剤形UVカット無機クリアー塗料
荷姿	16kg/セット、4kg/セット
用途	外壁
適用基材	意匠サイディング全般、光触媒サイディング、焼付金属サイディング、無機系サイディング

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (塗布面積/セット/回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使用時間 (23℃)
事前診断	新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工してください。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので、施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないでください。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸い込みや付着性を確認してください。						
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	クリアベース ハイパー [油性タイプ]	主剤	14.0kg	0.12～0.14kg (128～150m ²)	刷毛 中毛ローラー エアレススプレー	1	4時間以上 7日以内
		硬化剤	4.0kg				
		PXシンナー	0～3%				
上塗り	クリスタル コート	主剤	14.0kg	0.12～0.14kg (114～133m ²)	刷毛 中毛ローラー エアレススプレー	1	—
		硬化剤	2.0kg				
		PXシンナー	0～3%				

注意事項

- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 素焼きタイルのような多孔質のタイルやレンガには施工を避けてください。
- クリアベースハイパー[油性タイプ]は陶磁器質タイル面での漏水やエフロを抑制するものではありません。
- クリアベースハイパー[油性タイプ]を上塗り材として使用することは避けてください。
- 上塗り材に艶調整品を施工する際は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意してください。
- クリアベースハイパー[油性タイプ]及びクリスタルコートは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- 混合後の可使用時間を厳守し、可使用時間以内に使用できないと予想される場合、必要に応じて小分けしてご使用ください。
- 下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は施工できません。
- シーリング面に塗装する場合は、変色・汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本としてください。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生してください。
- 弱溶剤形製品は取り扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高压洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行ってください。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ご使用の際は容器に記載されている注意事項をよく守ってください。詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。